

令和5年度 葛飾区介護支援専門員レベルアップ研修開催のお知らせ

葛飾区では、介護支援専門員の皆様に現場で役立つスキルを学んでいただきたく、レベルアップ研修を開催しています。

今年度は「ダブルケアラー」、「緩和医療にかかわる医療と介護の連携術」、「障害者が65歳になったら」などを取り上げます。この機会にぜひともご参加ください。

1 受講対象者・推薦要件

(1) 葛飾区内の居宅介護支援事業所に勤務する介護支援専門員（常勤・非常勤問いません）

(2) 全日程参加可能な方

※1事業所につき1名までの参加とします。

2 定員

100名予定

3 日時及び会場

※会場は次ページ地図参照

日付	時間	会場	部屋
令和5年8月18日（金）	午後1時30分 ～3時30分※	ウィメンズパル内 男女平等推進センター	多目的ホール
視聴可能期間 令和5年10月10日（火） ～ 令和5年10月23日（月）	/	YouTube 上での オンライン研修	/
視聴可能期間 令和6年2月13日（火） ～ 令和6年2月26日（月）			

※受付は午後1時10分からです。

4 研修内容・講師

「介護支援専門員レベルアップ研修日程・カリキュラム」「講師プロフィール」のとおり

5 受講料

1人3,000円 ※受講日初日に、受付にて集金します。

6 感染症予防対策と受講生へのお願い

- ・会場内は換気のため、会場の扉や窓を定期的に開放、もしくは開放したまま講義を実施いたします。
- ・運営にあたる職員はマスクを着用いたします。また、講師はマスクを着用したまま講演を行う場合があります。

- ・受講者の皆様にはマスクの着用や「咳エチケット」へのご協力をお願いします。
- ・受講者各位にて事前に検温くださいますようお願いいたします。体温が37.5度以上ある場合は、ご参加を見合わせていただきますようお願い申し上げます。

7 その他（主任介護支援専門員更新研修との関係について）

本研修は東京都主任介護支援専門員更新研修事業実施要綱3対象者（3）主任介護支援専門員としての資質向上要件アに該当します。

※受講終了後に修了証を交付いたします。ただし、欠席、遅刻、早退をした方には原則修了証を交付することはできません。

【申し込み方法】

以下のQRコードを読み込んでいただくか、又はURLから、申し込み受付フォームにて必要事項を入力し、お申し込みください。



URL : <https://logoform.jp/form/Ehiz/319597>

《申し込み期限》 令和5年8月10日（木）

※申し込みの受付連絡はいたしません。ご了承ください。

※受講の可否については、メールにてお知らせします。

【申し込み及び問い合わせ先】

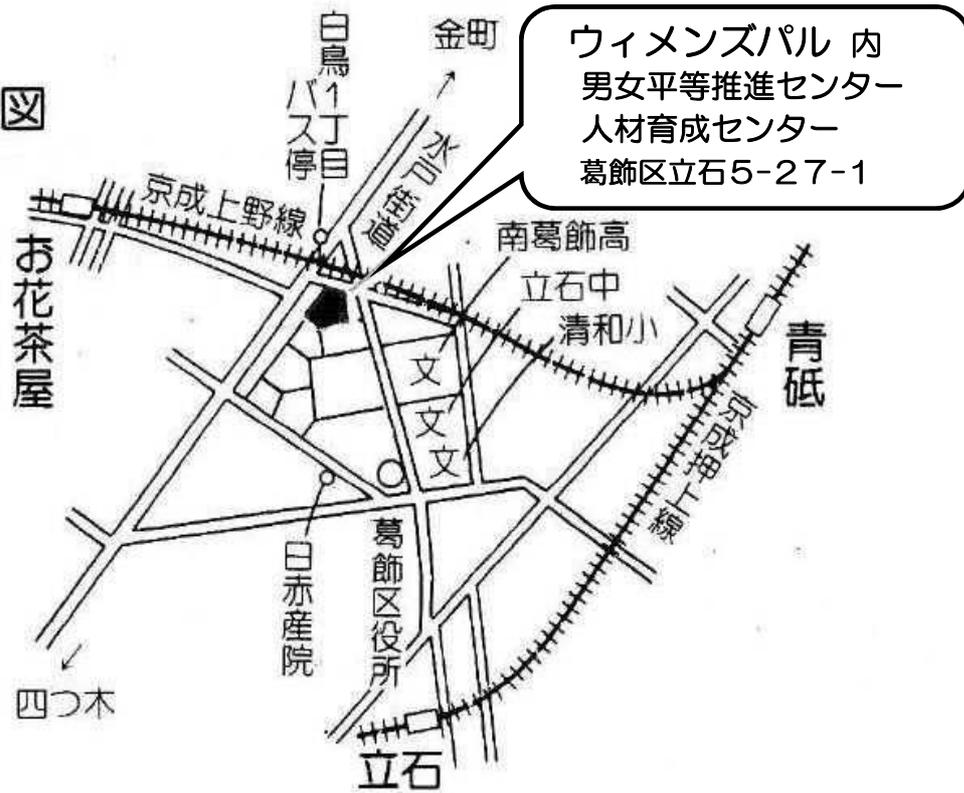
葛飾区福祉部介護保険課事業者係 担当者：河辺（こうべ）

〒124-8555 葛飾区立石5-13-1 TEL 3695-1111（内線）2367
（直通）5654-8251（FAX）5698-1504

E-mail : kaigo@city.katsushika.lg.jp（事業者係メールボックス）

【地 図】 会場周辺は駐車場が限られていますので、公共交通機関をご利用ください。

案内図



令和5年度 介護支援専門員研修 日程・カリキュラム

実施形式	日程	時間	会場	研修テーマ	実施内容	講師	講師経歴等
対面	8月18日 (金)	13:30～15:30	ウイメンズバル 多目的ホール	ダブルケアラーに出会ったら、 介護支援専門員としてどのように関わりますか？	新しい地域課題として、「ダブルケアラー」が注目されています。子育てをしながら介護をするというイメージを連想しがちですが、実際には妊娠中に義父の認知症ケア、実母の介護と発達障害のある長男を含む2人の子育てを担う、未就学児を子育て中に第二子を妊娠し、同時期に実父のターミナルケアと実母の介護など、複雑な課題が絡まっています。ケースの多くは、介護支援専門員や地域包括支援センター、介護サービス事業所が関わっていますが、うまくいっていない事も見受けられます。目前にいる「ダブルケアラー」の方に、どのように関わりますか？	NPO法人こだまの集い 代表理事 室津 瞳 氏 (看護師、介護福祉士)	2017年に両親の介護と3歳の長女の子育て、長男を妊娠中であるダブルケアを経験。ダブルケア当事者になり、子育てと介護が重なる事で仕事の継続の難しさや、ダブルケア支援の制度が未整備である現状を知る。ダブルケア当事者の声を支援者・自治体に届けてダブルケアでも就労可能な社会への実現に向けて令和元年5月にNPO法人こだまの集い設立。
(動画配信)	10月10日 (火) ～ 10月23日 (月)	YouTubeでの オンライン研修		緩和医療にかかわる医療と介護のなるほど連携術！ ～終末期の対応も添えて～	緩和医療は、在宅でどこまで可能か、何が不可能なのか、その上で病院と在宅の違いを理解し、個人のおかれた状況によって適切な選択をアドバイスできるように解説します。終末期の対応も含めて、臨機応変に対応する力を身につけましょう。	西麻布ライフケアクリニック 院長 池田 真美 氏	東京女子医科大学卒業 東京大学大学院 肝胆膵外科学分野 博士号取得 JCHO東京高輪病院 外科部長 JR東京総合病院 消化器外科 主任医長 令和3年 8月 西麻布ライフケアクリニックを開業
	2月13日 (火) ～ 2月26日 (月)			障がい者が65歳になったら	地域共生社会に向けて、介護と障がい福祉の連携が叫ばれております。しかし、実際の現場では、障がい者が65歳以上になると介護保険サービスへ移行する必要が出てきますが、シームレスには至っていない傾向があります。移行を阻害する課題と解決方法を学びます。また、令和6年度は、医療、介護、障がい福祉のトリプル改定が予定されているため、介護と障がい福祉に関わる法改正の内容についても、情報提供致します。	上智大学総合人間科学部社会福祉 学科 特任教授 一般社団法人 日本発達障害ネット ワーク 副理事長 大塚 晃 氏	厚生労働省児童家庭局、社会・援護局障がい保健福祉部にて、制度設計に携わってこられ、現在でも厚生労働省の有識者委員会で座長などを務められております。

NPO 法人こだまの集い 代表理事 室津 瞳 氏

【資格】

看護師、介護福祉士

【経歴等】

2017 年に両親の介護と 3 歳の長女の子育て、自身も長男を妊娠中であるダブルケアを経験。当事者になり、子育てと介護が重なることでの就労継続の困難さや、日本はダブルケア支援制度が未整備である現場を知る。これらの社会課題の改善に向けて、当法人の設立を決意した。

大川医療福祉専門学校にて専任教員

武蔵野大学 外部講師

医療法人社団 NLC 西麻布ライフケアクリニック 理事 池田 真美 氏

【資格・所属学会】

- 日本外科学会 専門医・指導医
- 日本消化器外科学会 専門医・指導医
- 日本消化器病学会 専門医・指導医、関東支部会評議員、学会評議員
- 日本肝臓学会 専門医・指導医
- 日本肝胆膵外科学会 評議員
- 日本移植学会 移植認定医
- 肝胆膵外科・移植外科女性医師の会（Chloet の会）元発起人
- 女性外科医会 世話人
- 日本医師会認定産業医
- マンモグラフィ読影認定医
- 身体障害者福祉法第 15 条指定医（肝障害）
- 東京都難病指定医

【経歴】

- 平成 10 年 東京女子医科大学卒業
- 東京大学医学部附属病院研修医、肝胆膵外科・人工臓器移植外科入局
- 茨城県立中央病院、東京専売病院で研修
- 東京大学大学院 肝胆膵外科学分野 博士号取得
- 港区 せんぼ東京高輪病院→JCHO 東京高輪病院 外科部長
- 渋谷区 JR 東京総合病院 消化器外科 主任医長
- 令和 3 年 8 月 西麻布ライフケアクリニック 院長
- 令和 5 年 4 月 医療法人社団 NLC 理事長

上智大学総合人間科学部社会福祉学科 特任教授

一般社団法人 日本発達障害ネットワーク 副理事長

大塚 晃 氏

【経歴】

- ・ 特殊法人心身障害者福祉協会のぞみの園指導員（1976～1996）
- ・ 厚生省児童家庭局育成環境課児童健全育成専門官（1998～2000）
- ・ 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉専門官（2001～2008）

【教育・研究活動、社会貢献・その他の社会的活動】

- ・ 国土交通省「高齢者・障害者・子育て世帯居住安定化推進事業評価委員会」委員（2010～）
- ・ 川崎市身体障害者のためのコンピュータ基礎研修講座運営委員会委員長（2010～）
- ・ 厚生労働省「重症心身障害児者の地域生活モデル事業検討委員会」委員長（2012）
- ・ 厚生労働省「障害児支援の在り方に関する検討会」座長代理（2015）
- ・ 厚生労働省障害福祉サービスの在り方等に関する論点整理のためのワーキンググループ「高齢の障害者に対する支援の在り方に関する論点整理のための作業チーム」（2015）
- ・ 厚生労働省障害児通所支援に関するガイドライン策定検討会構成員（2015）
- ・ 厚生労働省「児童発達支援に関するガイドライン策定検討会」構成員（2016）
- ・ 内閣府障害者政策委員会 第6期委員

【主な著書・論文】

- ・ 2012年「障害者総合支援法で何がどう変わったのか」 『月刊福祉』 12月号
- ・ 2012年「支援サービス体系ー通所、入所ー」 『発達障害研究』 第34巻3号
- ・ 平成22年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業「障害者相談支援ガイドライン作成とその効果的な普及・活用方策の在り方検討事業」報告書
- ・ 平成23年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業「サービス利用計画の実態と今後のあり方に関する研究」報告書